



あさひ

学校だより7月号
令和2年6月30日
横浜市立旭小学校

昭和34年4月18日制定

<旭小学校ホームページ> 随時更新しています。ぜひご覧ください。

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/asahi/index.cfm/1.html>



「熱中症にご注意を」

副校長 藤田 明彦

緊急事態宣言が解除され、6月1日から段階的に学校教育活動が始まって1か月が経ちました。学校に子どもたちが戻り、学校中に子どもたちの声が響き渡っています。平穏だった今までの日常が、特別なものであったことを今さらながらに感じています。今、私たちにできることを考え、ベストを尽くしていきたいと思います。

さて、皆さんコロナウィルス感染症での死者と熱中症の死者はどちらが多いかご存じでしょうか。6月23日時点におけるコロナウィルス感染症で亡くなられた方の数は、963人にのぼっています。一方、厚生労働省が発表している最新の熱中症での死者数は、平成30年では1581人でした。(昨年の7月の全国における熱中症による救急搬送者人数は16431人)熱中症の死亡リスクは、コロナウィルス感染症と比較しても意外と高いことが分かります。

今、コロナウィルス感染症防止対策として日常的にマスクを着用することが求められています。しかし、マスクをすることによって、体に熱がこもってしまったり、のどの渇きを感じにくくなり、水分補給が遅れたりすることが考えられます。このように今年の夏は、コロナウィルス感染症対策に加え、熱中症にも気をつけなければなりません。これまでと異なる「新しい生活様式」下で迎えることとなります。十分な感染症対策を行いながら、熱中症予防にもこれまで以上に心掛けなければなりません。

そこで、環境省、厚生労働省によると「新しい生活様式」下で健康に過ごすために以下のように注意点を挙げています。

「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

- 夏期の気温・湿度が高い中でマスクを着用すると熱中症のリスクが高いことがあります。このため、屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合には、熱中症のリスクを考慮し、マスクを外すようにしましょう。
- マスクを着用している場合には、強い負荷の作業や運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を心掛けるようにしましょう。また、周囲の人との距離を十分にとれる場所で、適宜、マスクを外して休憩することも必要です。
- 冷房時でも換気扇や窓開放によって換気を確保する必要があります。室内の温度が高くなるので、熱中症予防のためにエアコンの設定温度をこまめに調節します。
- 日頃の体温測定・健康チェックは、コロナ対策だけでなく、熱中症予防にも有効です。
- 暑さを避けましょう。涼しい服装、帽子の着用。少しでも体調が悪くなら、涼しい場所へ移動。
- こまめに水分補給をする。のどが渇いていなくてもこまめに水分補給をしましょう。
- 暑さに備えた体作りをする。適度な運動を心掛け、身体が暑さに慣れるようにしましょう。

学校においては、手洗いの励行や教室の換気などのコロナ対策に合わせ、こまめな水分補給や熱中症のリスクが高いとき(体育の学習・体育の学習以外で体を動かす場合・登下校中、暑さ等により健康被害が発生する可能性がある場合等)には、「咳エチケットを守る」「人との距離を十分に保つ」「なるべく会話をしない」等を守った上で、児童にマスクを外してもよいと熱中症予防の指導をしています。ご家庭におきましても、感染症・熱中症の予防につきましてお子様と一緒にご確認していただきますようお願いいたします。

7月の取組目標

| | |
|------|-----------------|
| 生活目標 | 友だちと仲良く遊ぼう |
| 保健目標 | 暑さに負けずに元気に過ごそう |
| 清掃目標 | 傘立て、くつ箱をきれいにしよう |
| 給食目標 | 好き嫌いなく食べよう |

＜夏季休業中の閉庁期間について＞

夏季休業中の8/3(月)～8/14(金)の期間を本校では閉庁期間といたします。この期間は日直もおりません。閉庁期間中に、事故等**緊急の場合に限り、東部学校教育事務所【045-411-0608(指導主事室)】**にご連絡ください。

※平日の8:30～17:15【土日・祝日を除く】